

パイプラインの流れに変化！最新シェールガス事情

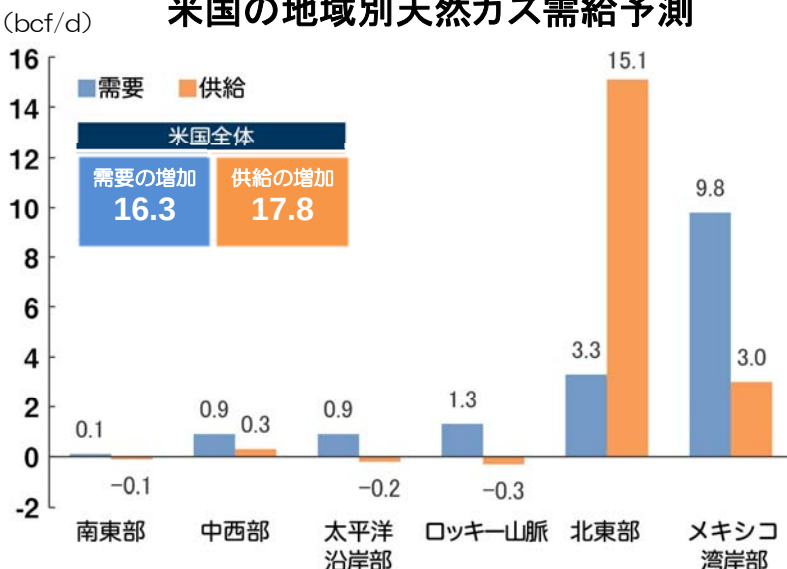
シェールガスの開発が進む米国で、パイプラインの流れが変わりつつあります。従来、米国の天然ガスはヒューストンなどメキシコ湾岸地域などで生産され、ニューヨークなど大都市が集まる米国北東部で消費される、という構造になっていました。そのため天然ガスを運ぶパイプラインは、各生産地から米国北東部に向けて整備されていました。

ところが近年は、シェールガスの生産地として、マーセラスなど米国北東部が台頭してきており、この地域の供給量は2014年から2018年までに15.1%増加、米国全体の供給増加量の約85%を占めると予測されています。一方、需要面では安価なシェールガスを活用した化学工場などの建設が進むメキシコ湾岸地域が北東部を上回り、同期間9.8%増加、全米の増加量の約60%になると予想されています。

このような供給地と需要地の変化を受けて、ウィリアムズ・パートナーズやキンダー・モルガン・エナジー・パートナーズなどの大手MLPは、新規パイプラインの進行方向の流れを変えるほか（メキシコ湾岸→北東部から北東部→メキシコ湾岸）、新たなパイプラインの建設なども計画しています。その投資額は約210億米ドル（約2.1兆円）に及ぶと言われています。

米国シェールガスの供給地と需要地の変化が、今後の運搬ルートに大きな変化をもたらそうとしています。

米国の地域別天然ガス需給予測



(出所) EIA、米統計局、IHSおよびGS証券のレポートを元にGSAM作成

*2014年と比べた2018年のエネルギー需給の増加量予測 bcf/dは10億立方フィート/日

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複製、写真複製、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

<審査番号: 100565.OTHER.MED.OTU> © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.